



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 三井倉庫ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9302 URL <https://www.mitsui-soko.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古賀 博文  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理担当 (氏名) 松井 博文 TEL 03-6400-8006  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	157,252	12.3	13,673	17.5	14,446	23.2	9,169	36.1
2022年3月期第2四半期	140,044	17.7	11,636	44.2	11,723	43.8	6,734	33.6

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 14,179百万円（72.5%） 2022年3月期第2四半期 8,220百万円（6.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	368.90	—
2022年3月期第2四半期	271.17	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	263,983	98,544	33.8
2022年3月期	258,297	88,631	30.8

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 89,272百万円 2022年3月期 79,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	94.00	129.00
2023年3月期	—	72.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	109.00	181.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 配当予想の修正については、本日（2022年11月4日）公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想及び通期個別業績予想の修正、並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	1.3	24,500	△5.5	24,900	△2.6	15,000	3.4	603.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	24,921,802株	2022年3月期	24,883,002株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	46,684株	2022年3月期	46,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	24,855,718株	2022年3月期2Q	24,836,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、（添付資料）4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（参考）2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	1.3	6,200	△9.6	5,800	△4.9	6,500	15.2	261.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
3. 補足情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の決算の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

連結合計	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	増減率
営業収益	140,044	157,252	17,207	12.3%
営業利益	11,636	13,673	2,037	17.5%
経常利益	11,723	14,446	2,723	23.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,734	9,169	2,434	36.1%

- ・営業収益及び全ての段階利益において前年同期比増収増益となりました。
- ・世界的なサプライチェーンの混乱が継続するなかで急速に変化する顧客のニーズを的確に捉え、代替輸送ルートや物流の効率化提案を行いました。この結果、新規顧客の獲得や、既存顧客の受託範囲が拡大し、フォワーディング業務の取扱が増加しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## (イ) 物流事業

(単位：百万円)

物流事業	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	増減率
営業収益	135,796	152,996	17,200	12.7%
営業利益	10,526	12,502	1,975	18.8%

事業環境：当社を取り巻く事業環境は次のとおりであります。

- ・ウクライナ情勢の長期化や、中国におけるロックダウン等の経済活動の抑制が、企業の素原材料・部品の調達の制約となっております。
- ・一方で、経済社会活動の再開に伴い、企業の生産活動や輸出入は緩やかな持ち直しの動きが続いております。
- ・海上コンテナ不足等の海運市況の混乱や、航空旅客便の減便に伴う貨物スペースの供給制約が継続しております。このため、海上・航空輸送スペースの供給不足、及び運賃の高騰は、足元では落ち着きが見られるものの、引き続きコロナ禍前を上回る水準で推移しております。

営業の状況：当社の営業活動の状況は次のとおりであります。

- ・世界的なサプライチェーンの混乱が継続するなかで急速に変化する顧客のニーズを的確に捉え、機動的なスペースの確保を行いフォワーディング業務の取扱が増加しました。
- ・代替輸送ルート等の顧客のBCP対応や環境負荷低減のための物流ソリューションや、海外現地の物流から国際輸送、国内における輸配送までを一気通貫で提供する物流の効率化の提案を行いました。この結果、新規顧客の獲得や、既存顧客の受託範囲が拡大し、海外物流及びフォワーディング業務の取扱が増加しました。
- ・前期に立ち上げたヘルスケア物流専用の新設倉庫や、同じく前期に立ち上げた家電量販店・EC向けの新設物流センターの通期寄与がありました。
- ・中国におけるロックダウンの影響により、家電関連の物流の一部において取扱が減少したものの、その影響は限定的でありました。

## (ロ) 不動産事業

(単位：百万円)

不動産事業	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	増減率
営業収益	4,615	4,658	42	0.9%
営業利益	2,758	2,832	73	2.7%

事業環境：当社を取り巻く事業環境は次のとおりであります。

- ・東京ビジネス地区のオフィス物件の平均空室率、及び平均賃料は横ばいで推移しました。

営業の状況：当社の営業活動の状況は次のとおりであります。

- ・当社所有のオフィス物件の空室率及び賃料水準に大きな変動はなく、営業収益、営業利益ともに横ばいとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の変動状況

(単位：百万円)

連結合計	前期末	当第2四半期末	前期末比	増減率
自己資本	79,458	89,272	9,814	12.4%
総資産	258,297	263,983	5,686	2.2%
自己資本比率	30.8%	33.8%	+3.1ポイント	9.9%
有利子負債	99,394	97,330	△2,064	△2.1%
D/Eレシオ	1.25	1.09	△0.16	△12.8%

- ・自己資本が増加した要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と、円安の進行に伴う為替換算調整勘定の増加によるものです。
- ・総資産が増加した要因は、主に現預金の増加によるものです。
- ・有利子負債が減少した要因は、借入金の返済によるものです。
- ・引き続き、D/Eレシオが1.0倍程度となるよう運用する方針です。

## ②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

連結合計	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
現金及び現金同等物の期首残高	22,718	22,822	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,460	19,180	10,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,911	△2,310	2,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△638	△9,145	△8,506
現金及び現金同等物の期末残高	25,845	31,615	-

- ・営業活動によるキャッシュ・フローが増加した要因は、主に税金等調整前四半期純利益の増加と、売上債権の減少によるものです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローの支出が減少した要因は、ヘルスケア物流専用の新設倉庫の建設代金の支払いがあった前期と比較すると、当期の設備投資が減少していることによります。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローの支出が増加した主な要因は、借入金の返済、及び配当金の支払額の増加によるものです。

## ③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 3月期	2021年9月 第2四半期	2022年 3月期	2022年9月 第2四半期
自己資本比率 (%)	26.3	27.7	30.8	33.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.6	25.3	24.1	29.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.2	6.6	4.3	2.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	21.2	19.7	27.1	42.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。
4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第2四半期では2倍して算出しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ア. 2023年3月期の通期業績予想の修正について

世界的なサプライチェーンの混乱が継続する中、急速に変化する顧客のニーズを的確に捉え、機動的にスペースを確保したことによりフォワーディング業務の取扱が増加したこと、及び顧客のBCP対応や環境に配慮した代替輸送ルート の提案等の物流ソリューション営業を積極的に行うことで新規顧客の獲得や既存顧客の受託範囲が拡大したことにより、上期の実績が予想を上回りました。また、海運市況の混乱に伴う海上輸送から航空輸送へのシフトや、航空運賃高止まりによる影響（以下、「特殊要因」）は、前回発表時の想定よりも収束に時間を要すると見込んでいることから、通期連結業績予想を修正いたしました。

また、関係会社からの受取配当金が当初計画を上回る見通しであることに加え、グループ内で子会社株式の一部を売買することに伴う特別利益が発生する予定であることから、通期個別業績予想を修正いたしました。なお、当該受取配当金及び特別利益は連結上消去されます。

## 〔2023年3月期 通期（2022年4月1日～2023年3月31日）連結業績予想〕

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 300,000	百万円 22,500	百万円 22,000	百万円 13,500	円 銭 542.92
②今回修正予想	305,000	24,500	24,900	15,000	603.25
③増減額 ②-①	5,000	2,000	2,900	1,500	—
④増減率 ③/①	1.7%	8.9%	13.2%	11.1%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期 通期)	301,022	25,939	25,553	14,503	583.98

## 〔2023年3月期 通期（2022年4月1日～2023年3月31日）個別業績予想〕

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 20,300	百万円 5,100	百万円 4,600	百万円 4,600	円 銭 185.21
②今回修正予想	21,200	6,200	5,800	6,500	261.41
③増減額 ②-①	900	1,100	1,200	1,900	—
④増減率 ③/①	4.4%	21.6%	26.1%	41.3%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期 通期)	20,917	6,861	6,097	5,644	227.25

## 連結営業利益における通期業績予想と本修正における差異の概要（単位：億円）

	実力値	特殊要因	合計
2022年8月2日公表 通期業績予想	203	22	225
フォワーディング業務の取扱増加等 特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高止まり）	+8	-	+8
	-	+3	+3
上期増減合計	+8	+3	+11
為替影響 特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高止まり）	+1	-	+1
	-	+8	+8
下期増減合計	+1	+8	+9
本修正における通期業績予想	212	33	245
参考：前年同期実績	170	89	259

## イ. 2023年3月期の期末配当予想の修正について

当社グループは、「中期経営計画2022」（2023年3月期～2027年3月期）において、連結配当性向30%を基準とする業績に連動した機動的な配当を実施する方針としております。

今回、上記ア. のとおり2023年3月期の業績予想を修正したことに伴い、配当方針に沿って通期の連結配当性向が30%程度となるよう1株当たり配当金の配当予想を修正するものであります。

[2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）期末配当予想額]

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2022年8月2日発表)	円 銭 —	円 銭 92.00	円 銭 164.00
今回修正予想	—	109.00	181.00
当期実績	72.00	—	—
前期実績（2022年3月期）	35.00	94.00	129.00

（注）上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,109	31,898
受取手形、営業未収金及び契約資産	41,155	38,660
棚卸資産	2,045	1,735
その他	11,112	10,188
貸倒引当金	△67	△71
流動資産合計	77,354	82,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,609	73,013
土地	56,496	56,906
その他（純額）	9,387	10,925
有形固定資産合計	139,493	140,845
無形固定資産		
のれん	1,917	1,762
その他	6,783	7,463
無形固定資産合計	8,700	9,226
投資その他の資産		
投資有価証券	9,883	10,018
その他	23,468	22,078
貸倒引当金	△603	△597
投資その他の資産合計	32,748	31,499
固定資産合計	180,942	181,571
資産合計	258,297	263,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,604	20,049
短期借入金	2,049	2,110
1年内返済予定の長期借入金	9,630	7,849
未払法人税等	4,631	3,050
賞与引当金	3,863	4,020
その他	22,663	24,867
流動負債合計	65,441	61,947
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	57,317	54,704
退職給付に係る負債	6,562	6,589
その他	15,343	17,197
固定負債合計	104,224	103,491
負債合計	169,666	165,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,100	11,156
資本剰余金	5,548	5,603
利益剰余金	52,752	59,587
自己株式	△103	△103
株主資本合計	69,298	76,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,568	3,613
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	4,665	7,944
退職給付に係る調整累計額	1,924	1,470
その他の包括利益累計額合計	10,159	13,028
非支配株主持分	9,172	9,272
純資産合計	88,631	98,544
負債純資産合計	258,297	263,983

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業収益</b>		
倉庫保管料	17,670	18,806
倉庫荷役料	15,540	16,943
港湾作業料	8,494	8,996
運送収入	72,920	84,567
不動産収入	4,248	4,256
その他	21,170	23,681
営業収益合計	140,044	157,252
<b>営業原価</b>		
作業直接費	70,961	81,097
賃借料	9,664	10,053
減価償却費	3,565	3,949
給料及び手当	18,131	18,977
その他	17,330	20,448
営業原価合計	119,653	134,526
営業総利益	20,391	22,726
<b>販売費及び一般管理費</b>		
減価償却費	618	697
報酬及び給料手当	4,272	4,227
のれん償却額	358	223
その他	3,504	3,904
販売費及び一般管理費合計	8,755	9,052
営業利益	11,636	13,673
<b>営業外収益</b>		
受取利息	64	113
受取配当金	182	205
為替差益	10	496
持分法による投資利益	219	280
その他	340	333
営業外収益合計	816	1,429
<b>営業外費用</b>		
支払利息	429	449
支払手数料	32	36
固定資産除却損	81	26
その他	185	144
営業外費用合計	729	656
経常利益	11,723	14,446
<b>特別利益</b>		
退職給付信託返還益	—	496
特別利益合計	—	496
税金等調整前四半期純利益	11,723	14,942
法人税等	3,644	4,122
四半期純利益	8,078	10,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,344	1,650
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,734	9,169

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,078	10,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	44
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	77	3,427
退職給付に係る調整額	77	△442
持分法適用会社に対する持分相当額	100	330
その他の包括利益合計	141	3,358
四半期包括利益	8,220	14,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,969	12,038
非支配株主に係る四半期包括利益	1,251	2,141

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,723	14,942
減価償却費	4,184	4,646
のれん償却額	358	223
退職給付信託返還益	—	△496
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	197	122
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△89	2
受取利息及び受取配当金	△246	△318
支払利息	429	449
持分法による投資損益 (△は益)	△219	△280
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4	△31
固定資産除却損	81	26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△3,087	3,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	610	△3,237
その他	760	3,043
小計	14,675	23,061
利息及び配当金の受取額	396	590
利息の支払額	△428	△450
法人税等の支払額	△6,183	△4,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,460	19,180
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,182	△1,207
有形固定資産の売却による収入	35	47
無形固定資産の取得による支出	△909	△1,170
無形固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△111	△11
投資有価証券の売却による収入	47	—
貸付けによる支出	△6	△6
貸付金の回収による収入	7	35
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	206	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,911	△2,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	66,000	60,530
短期借入金の返済による支出	△62,000	△60,659
長期借入れによる収入	3,000	1
長期借入金の返済による支出	△6,004	△4,466
配当金の支払額	△745	△2,334
非支配株主への配当金の支払額	△756	△2,111
その他	△132	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△638	△9,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	216	1,068
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,127	8,793
現金及び現金同等物の期首残高	22,718	22,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,845	31,615

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	135,796	4,248	140,044	—	140,044
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	367	367	(367)	—
計	135,796	4,615	140,412	(367)	140,044
セグメント営業利益	10,526	2,758	13,285	(1,649)	11,636

(注)1. セグメント利益の調整額△1,649百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	152,996	4,256	157,252	—	157,252
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	401	401	(401)	—
計	152,996	4,658	157,654	(401)	157,252
セグメント営業利益	12,502	2,832	15,334	(1,660)	13,673

(注)1. セグメント利益の調整額△1,660百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

2023年3月期 第2四半期決算参考資料

## 1. 経営成績の概要(連結)

(単位:百万円)

	第2四半期(4月1日～9月30日)				通期(4月1日～3月31日)			
	2022年 3月期	2023年 3月期	増減		2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	増減	
			金額	率(%)			金額	率(%)
営業収益	140,044	157,252	17,207	12.3	301,022	305,000	3,977	1.3
営業利益	11,636	13,673	2,037	17.5	25,939	24,500	△1,439	△5.5
経常利益	11,723	14,446	2,723	23.2	25,553	24,900	△653	△2.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,734	9,169	2,434	36.1	14,503	15,000	496	3.4

## 2. 財政状態(連結)

(単位:百万円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減	
			金額ほか	率(%)
自己資本	79,458	89,272	9,814	12.4
総資産	258,297	263,983	5,686	2.2
自己資本比率	30.8%	33.8%	+3.1ポイント	9.9
D/Eレシオ	1.25	1.09	△0.16	△12.8

## 3. 減価償却の状況(連結)

(単位:百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	2022年3月期
減価償却費	4,184	4,646	462	8,721

## 4. 有利子負債残高(連結)

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年9月末	増減
社債	25,000	25,000	—
借入金	68,996	64,665	△4,331
リース債務	5,397	7,665	2,267
合計	99,394	97,330	△2,064

## 5. セグメント情報(連結)

〈営業収益〉

(単位:百万円)

	前年同期 実績	当第2四半期 累計期間実績	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績
物流事業	135,796	152,996	295,900	292,213
不動産事業	4,615	4,658	9,600	9,574
合計	140,412	157,654	305,500	301,788
調整額	△367	△401	△500	△765
連結損益計算書計上額	140,044	157,252	305,000	301,022

〈営業利益〉

(単位:百万円)

	前年同期 実績	当第2四半期 累計期間実績	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績
物流事業	10,526	12,502	22,700	23,734
不動産事業	2,758	2,832	5,800	5,798
合計	13,285	15,334	28,500	29,532
調整額	△1,649	△1,660	△4,000	△3,593
連結損益計算書計上額	11,636	13,673	24,500	25,939